



## メディアコントロール率を7割から8割へ！

校長 間嶋 哲

すでに10月10日に発行済の『もみじNo.4』では、前期の学校評価結果を載せました。保護者自由記述欄での御意見や素朴な疑問については、可能な限り回答させていただきました。いただいた声の中で、できることは、後期または来年度につなげていきます。

保護者アンケートと児童アンケートについては、帯グラフで示しました。特に当校では、メディアコントロールできる子どもを目指しています。ここでは令和3年の後期から継続している同一質問の「肯定的割合（4件法の上位2つ）」の推移を示します。

### 【児童アンケート】

いつもゲームやテレビ、動画などを2時間以内にするように考えて生活していますか。

	R3後期	R4前期	R4後期	R5前期	R5後期	R6前期
肯定的割合	78%	77%	78%	77%	77%	71%

### 【保護者アンケート】

テレビやゲーム、SNSや動画視聴等の約束を作り、それを守らせていますか。

	R3後期	R4前期	R4後期	R5前期	R5後期	R6前期
肯定的割合	93%	72%	68%	68%	67%	65%

同じような「メディアコントロール」に関する質問であっても、子どもと保護者の回答では、毎回少しズレがあることが分かります。傾向としては、次のことが言えそうです。

- ・3年前は「保護者>子ども」であったが、現在は「保護者<子ども」である。
- ・子どもの行動傾向は、この3年ほぼ変わっていないが、今年度は下がっている。
- ・矢印の部分(同一年度の変化)は、同一の子どもや保護者。多少でも上昇してほしいと思いつつ、実際は、子どもはあまり変わらない。逆に、保護者の意識は下がる。

今年度の終わり頃、また同様な質問をさせてもらうこととなります。統計の傾向からすれば、今年度後期の結果は、子どもで70%前後、保護者で62%程度なのでは、ここはぜひ、(傾向に抗って)何とかどちらも8割の大台になってほしいと願っています。

一人一台のタブレットが新潟市に導入され、早5年が経とうとしています。タブレットによって考える力、集中力がなくなっているという話も聞こえてきます。学校でも、紙や鉛筆の大切さを、あらためて意識させる取組をしています。ご家庭でも、お子さんと相談した上で、小さな約束作り・できることから始め、達成感を味わいませんか。

# 各学年の様子

## 1 学年「ともだち だいすき」

1 学年主任 高橋 博恵

入学して半年が経ちました。休み時間になると、「学校探検してきます!」「体育館で鬼ごっこしよう」など、友達と誘い合っていて遊んでいます。18の幼稚園・保育園・こども園から入学した子どもたち。入学当初は、楽しみよりも不安が大きかった人もいたようですが、相手を思いやりながら学校生活を送ることで、お互いのことを知り、仲良くなりました。

10月、11月、一小校区の年長児さんたちとの交流会があります。入学を楽しみにしてもらえる交流会にしようと張り切っています。



## 第3 学年「幸せ いっぱい とどけ隊」

3 学年主任 田村 達二郎

4月から新しい学級での活動が始まりましたが、どの学級も少しずつ慣れて、楽しく活動をしています。「1年生を迎える会」「運動会」「水泳」「校外学習」「福祉の学習」など、活動を一緒にしていく中で、学年の仲も深まっています。

今年度、総合的な学習の時間に福祉の学習をしています。社会福祉協議会の方々をはじめ、たくさんの方々に協力していただき学習を進めています。学習では、視覚障がいの方や地域のサロンで活動している方が笑顔になれるように、「幸せいっぱい とどけ隊」として、自分たちにできることを考えたり、話し合ったりしながら、活動しています。



## 第5学年 「大好き！新津商店街」

5学年主任 平野 俊郎

5年生は、新たに高学年としてスタートを切りました。7月の胎内自然教室では、カヌーやキャンプファイヤー、野外炊さんなどの自然体験を通して、自然のすばらしさと友達と力を合わせることの大切さを学びました。夏休み明けからは、総合的な学習の時間で「大好き！新津商店街」と題して、「C57」「サンカントピュール」「定四郎」「スロウプハウス」の4つのお店と協力して、新しい商品を開発しています。子どもらしい発想で新津商店街を元気にそして笑顔にしようがんばっています。



## 通級指導教室

まなびの教室担当 西野 隆男

新津第一小学校には、学校生活で様々な困難さを抱えているお子さんの支援のために3つの通級指導教室が設置されています。

【まなびの教室】では、「集団の中での学習」や「コミュニケーション」などに困難さを抱えるお子さんに支援を行っています。【ことばの教室】では、発音や吃音など、言語面で困難さを抱えるお子さんに支援を行っています。【きこえの教室】では、難聴など聴覚面で困難さを抱えるお子さんに支援を行っています。

秋葉区を中心とした小学生が定期的に通い、困難さの改善を目指して、元気に活動しています。